

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	標準現代の国語（第一学習社）		
使用副教材		進路マップ マナトレ 国語 基礎編（ベネッセコーポレーション）					

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・世界を広げる ・言葉が開く世界
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と文化 ・生活の中の表現
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と人間 ・現代と社会

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い	○	○	
課題レポート	○	○	○
ノート提出			○
その他提出物			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	新 言語文化（三省堂）		
使用副教材		なし					

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	入門 言葉を旅する 1 読書は生きる力
2 学期	2 物語は無縁に展開する 3 言葉は時空をかけめぐる 4 人の心は万華鏡
3 学期	5 共感は海を越える 6 文学は主張する

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い	○	○	
作文・感想文	○	○	○
ノート提出			○
その他提出物			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	地歴公民	科目	地理総合	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	高等学校	新地理総合（帝国書院）	
使用副教材		新詳高等地図（帝国書院）					

1 科目の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力・人間性等
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習内容・年間計画

1 学期	第1部 地図でとらえる現代世界
2 学期	第2部 国際理解と国際協力
3 学期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題・レポート提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	新訂版高校数学Ⅰ（実教出版）		
使用副教材	ステップノート数学Ⅰ 新訂版（実教出版） 進路マップ マナトレ 数学 基礎編（ベネッセコーポレーション）						

1 科目の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したえいする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習内容・年間計画

1学期	進路マップ マナトレ 数学 基礎編
2学期	1章 数と式
3学期	1章 数と式

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題提出	○	○	
その他提出物	○	○	○
発表・話し合い		○	○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	高等学校 科学と人間生活 改訂版（啓林館）		
使用副教材		高等学校 科学と人間生活の学習ノート（啓林館）					

1 科目の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習内容・年間計画

1 学期	第1部 生命の科学 第2部 物質の科学	第1章 ヒトの生命現象 第2章 衣料と食品
2 学期	第2部 物質の科学 第3部 光や熱の科学	第2章 衣料と食品 第2章 熱の性質とその利用
3 学期	第4部 宇宙や地球の科学	第2章 自然景観と自然災害

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験	○		
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
実験レポート		○	○
課題提出		○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	学習形態	合併分割
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	なし		
使用副教材		アクティブスポーツ2026（大修館）					

1 科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	体育理論、集団行動、体づくり運動、 （柔道、ソフトボール、ソフトバレーボール、バスケットボール）から1種目選択
2 学期	体育理論、体づくり運動、陸上競技（持久走）、 （器械運動、陸上競技、ダンス）から1種目選択
3 学期	体育理論、体づくり運動、 （柔道、バスケットボール、バドミントン、卓球）から1種目選択

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実技テスト	○	○	
自己・相互評価	○	○	○
発言・行動観察	○	○	○
機敏な言動	○	○	○
事故防止	○	○	
周囲との関わり		○	○
準備、片づけ			○
遅刻、忘れ物、見学		○	○
備考			

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	現代高等保健体育（大修館）		
使用副教材		現代高等保健体育ノート（大修館）					

1 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	【1 単元 現代社会と健康】 1. 健康の考え方と成り立ち 2. 私たちの健康のすがた 3. 生活習慣病の予防と回復 4. がんの原因と予防 5. がんの治療と回復 6. 運動と健康 7. 食事と健康 8. 休養・睡眠と健康
2 学期	9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康 12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復 15. 現代の感染症 16. 感染症の予防 17. 性感染症・エイズとその予防 18. 健康に関する意思決定・行動選択
3 学期	19. 健康に関する環境づくり 【2 単元 安全な社会生活】 1. 事故の現状と発生要因 2. 安全な社会の形成 3. 交通における安全 4. 応急手当の意義とその基本 5. 日常的な応急手当 6. 心肺蘇生法

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期テスト	○	○	○
課題発表	○	○	○
学習ノート	○	○	○
課題の提出		○	○
遅刻・欠課等の勤怠状況			○
日々の授業態度			○
備考			

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	音楽Ⅰ TuTTi+ (大修館)		
使用副教材		ミュージックノート (啓隆社) 各種プリント					

1 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	読譜の練習 校歌、寮歌、教科書の曲を中心に歌唱 楽譜の簡単な決まり事の学習、楽曲鑑賞
2 学期	諸外国語の歌、国内外の名曲を中心に ギターの基礎練習とコード伴奏の弾き歌い
3 学期	基礎的な楽典、管弦楽の基礎知識 混声合唱の基礎練習と実践

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
演奏 (歌唱・器楽)	○	○	○
鑑賞	○	○	○
ノート	○	○	○
自己・相互評価	○	○	○
準備物			○
備考			

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	教育図書 書道Ⅰ		
使用副教材		なし					

1 科目の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	書道の用具・用材・執筆法について・拓本 楷書の学習(孔子廟堂碑・九成宮禮泉銘・雁塔聖教序・顔真卿の書・北魏の書) 硬筆
2 学期	篆刻(印作り) 隸書の学習(曹全碑) 行書の学習(蘭亭序・風信帖・創作) 硬筆
3 学期	仮名の学習(いろは歌・蓬萊切・高野切・三色紙) 漢字仮名交じりの書(創作) 硬筆

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品(技術)	○	○	
作品(制作シート)		○	○
作品ワークシート	○		○
小テスト	○	○	
自己・相互評価	○	○	○
用具準備			○
備考			

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	VISTA English Communication I (三省堂)		
使用副教材		VISTA English Communication I ワークブック (三省堂)					

1 外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	Lesson 1 The Aurora 春休みに見たオーロラ Lesson 2 Soy Meat 大豆ミートのすごいところとは？
2 学期	Lesson 3 Capsule Toys カプセルトイって、おもしろい Lesson 4 Pictograms ピクトグラムの役割とは？
3 学期	Lesson 5 We Are Part of Nature 動物写真家、岩合光昭

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
聞くこと	○	○	
読むこと	○	○	
やり取り・発表	○	○	○
書くこと	○	○	○
インタビュー	○	○	○
課題提出			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	ウェルビーイングにつなぐ家庭総合（教育図書）		
使用副教材		ウェルビーイングにつなぐ家庭総合 準拠ノート（教育図書）					

1 科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理敵に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	食生活と健康 衣生活と健康	[通年] 学校家庭クラブ活動 ホームプロジェクト
2 学期	食生活と健康 衣生活と健康	
3 学期	高齢期の生活と福祉 住生活と住環境	

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
作品製作	○	○	
実習・実験	○		
発表・話し合い		○	○
課題提出	○	○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	4単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	農業と環境（実教出版）		
使用副教材		最新 日本の農業図鑑（ナツメ社）			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	「農業と環境」とプロジェクト学習 農業と環境のプロジェクト 学校農業クラブ活動
2 学期	暮らしと農業 農業と環境のプロジェクト 学校農業クラブ活動
3 学期	農業生産の基礎 農業と環境のプロジェクト 学校農業クラブ活動

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	農業と情報（実教出版）		
使用副教材		全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集 基礎から3級			主な授業形態		座学・実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1学期	第1章 私たちの生活と農業の情報化
2学期	第2章 社会を支えるコンピュータ 第3章 コミュニケーションと情報デザイン
3学期	第2章 社会を支えるコンピュータ 第3章 コミュニケーションと情報デザイン

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実技テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題提出		○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	総合実習	単位数	6単位	学習形態	クラス単位
学年	1学年	学級	全クラス	教科書	なし		
使用副教材		なし			主な授業形態		実習

1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する能力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習内容・年間計画

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・農場オリエンテーション ・栽培と飼育、環境と加工等に関する基礎的な実習 ・4 学科 1 2 部門を各班ローテーションで実習
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の各分野に関する総合的な実習 ・4 学科 1 2 部門を各班ローテーションで実習 ・農業の総合的な知識と技術、経営と管理の手法
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の産業現場等における総合的な実習 ・4 学科 1 2 部門を各班ローテーションで実習 ・農業の総合的な知識と技術、経営と管理の手法

3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実習記録ノート	○	○	○
実習態度		○	○
農業鑑定競技	○	○	○
準備物			○
遅刻・欠課等			○
先端農業実地研修			○
地域農業学習			○
備考			